

GP 香港 2013 参加記



2013/10/18（金）-20（日） KITEC

目次

この本について	2	10月20日（日） GP 2日目	20
GP 香港について	2	マジッククラスタへの日本土産	20
GP 香港 2013 に参加を決める	3	スーパーサンデーシールド	21
事前情報と準備	3	香港の同人誌即売会	23
		昼飯	23
10月18日（金） 出発の朝	4	ブースタードラフト	24
香港へのフライト	4	足裏マッサージを試す	26
空港からタクシーで GP 会場へ移動	5	漢口街を歩く	27
G P 本戦に登録	6		
直前トライアルに参加	7	10月21日（月） 帰国日	29
会場からホテルへ移動しチェックイン	7	朝の漢口街	29
ホテル周辺の散策と夕食	8	マンモスの牙	31
初日終了	9	チェックアウト	31
		空港で時間を潰す	32
10月19日（土） GP 本戦初日	11	エッグタルトを購入	33
GP 開始待ち	11	ウメ様のターン	33
チェックバック	12	出国と昼食	34
デッキ構築	13	さらば香港	35
Jung Park のサイン会	14		
GP 対戦開始	14		
会場内をぶらぶら	15		
そろそろドロップ	16		
ドロップして信和中心へ	16		
男人街へ	17		
2日目終了	18		

大会用の修正の入ったデッキチェック用紙	10
現地飲料の話	19
現地で買ったものなど	28
香港空港から KITEC へのアクセス	37

この本について

本書は2013年10月18日（金）～20（日）にかけ香港 KITECで開催されたマジック・ザ・ギャザリングの香港大会（GP 香港）にプレイヤーとして参加した筆者の記録です。

なお、現地の金額表記は原則として香港ドル（HKD）で行いました。

およそ1HKD=12.7円（2013年10月）で、感覚的には1HKD=10円で使ってしまうと使い過ぎるので注意して使わなければ…という感じでしたね。

GP 香港について

本書を手取るような方であればおよそ説明のないとは思われますが、GP（Grand Prix; グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から1000-2000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。

GP 香港 2013 は、香港で2013年に開催された大会…ということになります。

<http://www.wizards.com/Magic/Magazine/Article.aspx?x=grandprix/welcome#1>

GP 香港 2013 に参加を決める

基本的に筆者は、1年前の GP 台湾 2012 や 6 月の GP ラスベガス 2013 を堪能して以来、近場（※ 1）のリミテッド（※ 2）の GP にはお金や有休に余裕があれば参加することをデフォの行動にすることにしました。このため GP 台湾も参加を早々に決めました。

- ※ 1 飛行機でせいぜい半日くらいの所。海外は中国やマレーシア、ハワイあたりまで。豪州や米大陸や欧州は圏外。ただしラスベガスは別腹になったかも（笑）。
- ※ 2 筆者は基本「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。国内 GP は構築ならジャッジに応募して、リミテッドはプレイヤー参加するのがデフォ。

事前情報と準備

ウィザーズの GP サイト（※ 1）で会場は KITEC（※ 2）、主催は Play!Events（※ 3）であることは早々に明らかになったのでこれらをマークして随時チェック。

※ 1 <http://www.wizards.com/Magic/TCG/Events.aspx?x=mtg/event/grandprix/hongkong13>

※ 2 <http://www.kitec.com.hk/eng/index.php>

※ 3 <https://www.facebook.com/PlayEventsLLP>

しかし結局、主催の Facebook からは公式にも載っているサイドイベント案内とバイヤーリストくらいしか出ませんでしたね。構いませんけど。

自分の予定もざっくりと「金曜日はエントリー後に直前トライアルシールド」「土曜日は本戦」「日曜日はスーパーサンデーシールド」くらいで、実際その通りになりました。

あとはとりあえず型通りに観光ガイドを買ったり、香港関連の無料アプリを落としたり。現地で参照する情報としては、現地の住所とビルの名前入りの地図をそのまま参照できるだけの無料アプリ「中原地圖」の iPhone 版が一番重宝しました。

結局、現地の看板とか読んだり相手に示すには繁体字がそのまま表示された方が便利。

<http://hk.centamap.com/gc/home.aspx>

10月18日（金） 出発の朝

5時11分。予定より前倒しだが目が覚めたのでトランクをカラコロ引いて家を出る。

さすがにこの時間には流しのタクシーも拾えないので駅まで歩き、松屋で朝食。

6時秋葉原。京浜東北線はこんな時間で満員なのか。

モノレールで事故があったらしいが影響を受けず、羽田国際線ビル駅に6時半に到着。

海外用モデムを受け取り発券手続きを済ませゲートをくぐる。列がまったくなく警備員の人が立っているだけの状態だったので、一瞬進んで良いのか迷ったほどだ（笑）。

セキュリティも出国手続きも何ごともなく終え、ゲート111で2時間待つことに。

ラウンジに入れる身分ではなかったので書店で「銀の匙」最新刊立ち読みなどして時間を潰すが、やはりラウンジに入れるようになるべきなのかなあと思った。

コンビニで飲み物のペットボトルを買い、喉を潤す。

ツイッターを読んでいて、どうやらたちおさんが同じ便らしいと知る。空港から会場へのタクシー相乗りを誘うも、今日はゆっくり飲茶をしてから会場に行くとのこと。

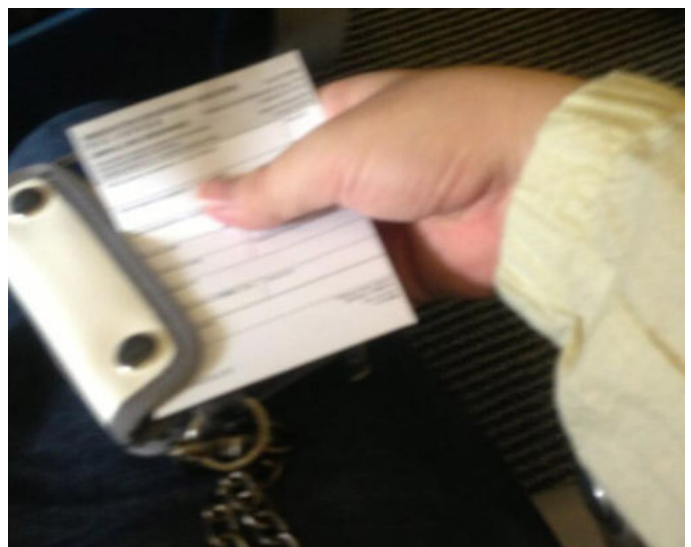
ちなみに一応羽田空港にもフリー Wifi があるのだが、回線状態はこれだけガラガラでも全然ダメで、使い物にならない。

香港へのフライト

8時45分に搭乗。

ただちに日本円入りの財布をしまい、ラスベガスで余らせた500米ドルの入った旅行財布を取り出して腰に鎖で装着。見栄えなんて気にしないよ！

何ごともなく9時に離陸して4時間のフライト。まあ適当にヒマを潰したりうつらうつらしているだけです。



香港時間 12 時（日本時間 13 時）に到着。

※以後は香港時間で表記

機内食では離陸後間もなく「朝食」が出た。
まあ普通。



到着後、まずは空港で 100 米ドルを HKD
（香港ドル）に両替。zoe.くんが 1 時間後
に到着する筈なので、まずは昼食にしよう。

…と思ってフードコートを覗くも、マクドナルドは行列も凄いいし、食堂の類はどう見ても
高そうに見えたので、セブンイレブンでパンとドリンクを買ってもぐもぐ。

持参のレンタル Wifi は普通に機能しているが試しに香港空港の無料 Wifi に繋いでみると
アンテナ 3 本。やっぱこうじゃなくちゃなあ。羽田空港はもう少し真面目にやるように。

空港からタクシーで GP 会場へ移動

セブンイレブン前で zoe.くんと合流。

まずは空港内のショップで zoe.くんが
SIM を購入するのにつきあったのちに、
2 人で空港タクシー乗り場へ。

空港のタクシー乗り場では、来るなり
乗ろうとする自分たちを係員が制して、
時刻と車両番号などをメモしたうえで
その紙をくれた。

なるほど。不正請求をするタクシーの

場合には処罰するから、このカードで連絡しろということなのだろう。



「メーターの料金だけを払え」「このカードはドライバーに渡すな」「車両番号や時刻が
入った手書きでない印字したレシートを受け取れ」とも書いてある。至れり尽くせり。

まあ、それだけ不正タクシーが多くて当局が取り締まりたいということなのだろう。

ともあれタクシーで GP 香港会場のある KITEC へ移動し、30 分ほどで無事に到着。
しかしながらこれだけこのカードで注意を受けたにもかかわらず、タクシードライバーが目の前のメーターに表示されている数字よりも少しだけ大きい 270HKD を請求してきたうえレシートも寄越さないというあからさまなボッタクリにかかる。クレームを入れれば一発却下してメーターの金額だけ払えば済む案件であるのは明らかだが、額も額だし面倒なのでそのまま払って降りてしまう。うん、こちらはカモな観光客だし向こうはプロだ。zoe.くんと折半して 1 人 135HKD。

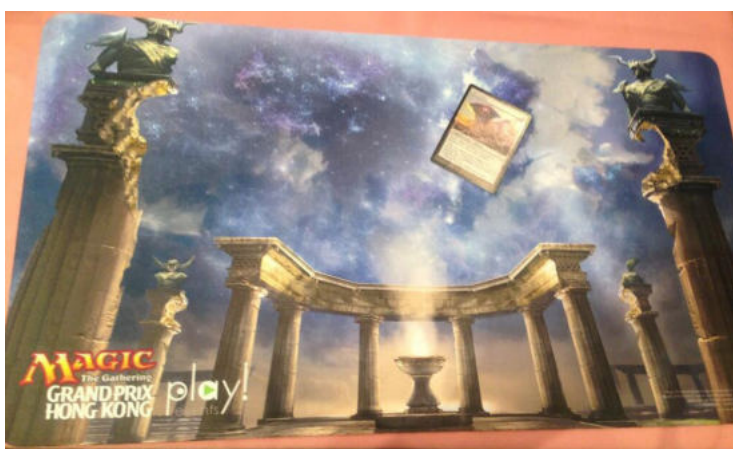
ともあれ 15 時に会場に到着。GP 香港が俺を待っている。



GP 本戦に登録

まずは書類を書き前日受付の列に並んだ。受付用紙の裏がメディア同意書になっている。

1 時間ほど並んで 280HKD 払って登録を終了して、プレイマットとプロモをゲット。私が GP 香港に来た目的のひとつは、このプレイマットである。すこし疲れた。



直前トライアルに参加

KITEC の施設内にあった ATM で香港ドルをキャッシングした上で、200HKD 払って直前トライアル 12 番卓にエントリーしたり、スリーブを買ったりコンビニで甘いお茶を買う。会場のウメ様と遭遇したり、nas さんと遭遇する。nas さんとはホテルは違うものの同じ尖沙咀（チムチャーツイ）に泊まっているため、朝の会場へのタクシーは相乗りしようという約束をしていたことから、地図を見つつ明日の朝の待ち合わせ場所と時間を約す。

小一時間ほど待ったのちにシートオールが出たので、座席に移動。

バックチェックを開始。英語版のバックなんだな。去年の GP 台湾はデフォルトで中文版だったから今度も中文版での構築やプレイを覚悟したんだけど。

自分のプールは、赤の神様と赤の神様の武器が揃ったバックで苦笑。

除去火力に恵まれていれば強いデッキになったんだけどなー…と思いつつ赤絡みで組む。

結果は一没。ていうか土地 2 枚でキープして 3 枚目の土地を引かないのでは勝てません。

もう 18 時を回っているし、宿にチェックインしてから夕食にすることにする。

会場からホテルへ移動しチェックイン

会場前でタクシーを拾って「尖沙咀」と伝えたと、これは通じたようだが当然「尖沙咀のどのへん」と聞かれる。目指すゲストハウスは「USA Hostel／香港美国酒店」なのだが、通じなかったのでビルの名前を見ると Mirador Mansion（美麗都大廈）とあったため、それを口頭で伝え相手はうなずく。しかしタクシーが停まり自分を下ろした場所は目的地から 2 ブロックほど北に離れた The Mira Hong Kong（美麗華酒店）であった。失敗。ミラしか合ってねえ。ていうかやっぱ自分の英語力では筆談せんとね。

目的地の場所は地図から明らかだったので、そのまま徒歩で彌敦道（ネイザンロード）を南下し、目的のビルを発見。ボロいエレベーターで 13F に上り、受付へ。

3 泊なのでデポジット 300HKD とリゾートフィー 100HKD を請求される。デポジットは

返ってくるからいいとして、100HKD の追加請求があったのは、値段だけをみて選んだうえでは失敗だったかも（まあ一泊あたり 400 円も変わらないけどね）。

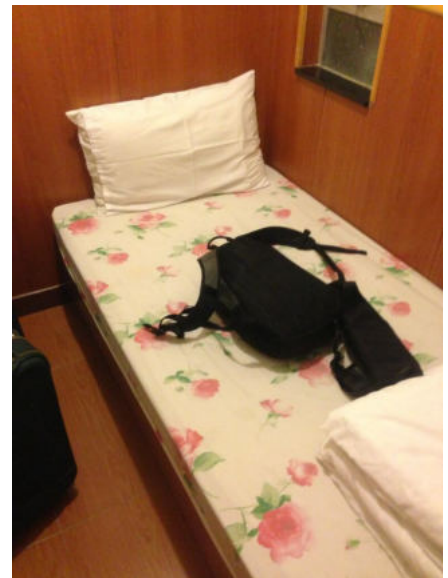
おっさんに案内されて自分の部屋へ移動。フロアは 7F。

シリンダー錠を 2 つ渡されて、誰でも入れるエリアから自分の部屋に行くには 2 つの扉を開けねばならないことを知る。第 1 の鍵でブロックに入り、第 2 の鍵で自分の部屋へ。

シャワーとトイレはブロック内共有で、自分の部屋の隣。自分の他には 1 名泊まっているようで、ちょうどシャワーを使っていた。クーラーは廊下で主電源を入れてから使う。

またビルのメインゲートとエレベーターは 22 時にはクローズするとのことで、「え」と思うも、裏から入れてエレベーターも使えるとのこと。ならまあいいか。

ともあれ部屋に入ったので荷物を置いて一息つく。何にせよ、寝るだけの部屋だ。



ホテル周辺の散策と夕食

荷物を置くと 20 時半。近くの散策と夕食にしよう、ということで部屋を閉めて外に出る。

まずは事前情報の通りに、重慶大廈の中にある両替商で再び米 100 ドルを HKD に両替。

確かに空港よりはだいぶレートがいい。空港 100 米ドル 726HKD。こちらは 771HKD。

軍資金もできたのでホテル裏通りを中心に、夕食を食べる所を探して 30 分以上うろうろ。

店では「マレーシア人か?」「中国人か?」とか聞かれる。あんまり日本語で話しかけてくる客引きに合わないのはそのせいかな。ニッポンジンデスヨー。

「クロニクル」の中国版正規品 BD を買おうかどうか悩んだりする。

さすがに腹が減ってきたので、適当な店に入って飯を適当に注文する。味はまあまあ。

ココナッツミルクはホットが出てきたのに意表をつかれるが、うまかった。



食後、再びホテルの周辺をうろうろと散策するが、22 時も回ったので部屋に戻ることにする。

初日終了

ホテルのビルの 1F にセブンイレブンがある（これはありがたい）ので、夜の飲料など買ってから、事前情報通りに正面が閉まっているのを確認ののち、裏口を探してホテルに入ってエレベータを探したうえで自分の部屋へ到着。OK 無問題。

誰も共同シャワーを使っていなかったので部屋で服を脱ぎ部屋の鍵をかけてタオルー丁で小走りで隣のシャワールームに移動したうえで、トイレとシャワーを使う。

廊下を誰も通りがからなかったし、このブロック全体が外から鍵がかかってるしね。

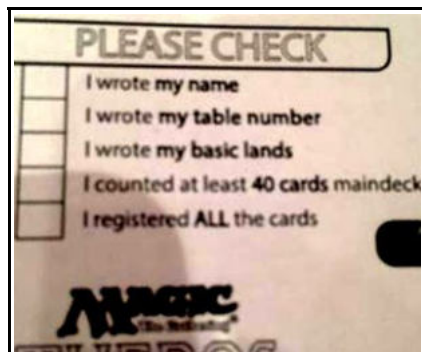
シャワーはちゃんとお湯が出た。OK 無問題。

シャワーを終えらともう 24 時近くになったので、明日に備えて簡単に日記を書いて寝る。メモを取った限りでは、今日の出費は 850HKD ほどだろうか。

1 日目終了。いよいよ明日は GP 本戦だ。

大会用の修正の入ったデッキチェック用紙

新たなセットが出ると、ウィザーズのサイトからデッキチェックリストがダウンロード可能になります。これは競技レベル以上のリミテッドの大会で使用するためのものなのですが、通常はその際いくつか修正を施して使用します。本当はウィザーズが最初から直してくれてると良いんですけどね（笑）。



- ・自分の名前を書いたか？（忘れたら 1 GL だよ！）
- ・テーブル番号を書いたか？（楽になるから書いてね！）
- ・基本土地は書いたか？（忘れたら 1 GL だよ！）
- ・メインデッキ 40 枚以上あるか？（間違えたら 1GL だよ！）
- ・メインデッキのカードを全部書いたか？（間違え以下略）

テーブル番号以外は草の根大会でも有効なチェックなので、これらは最初からウィザーズが印刷してくれるといいのになぁと思います。

リストはフォイルの基本土地を合わせて 84 枚なりにする必要があるので、パックからフォイルの基本土地が出た場合それもカウントの必要があります。

これも最初からウィザーズが（以下略）。



その他、「デッキ構築時の」テーブル番号を記入する欄があります。これも草の根大会では使用しないものの「あったも良い」ものなので、最初からウィザーズが（以下略）



さらに大会中の「どのイベントか」というのも記入されています。（これは本戦初日のものです）
これはウィザーズが最初から印刷しておくのは無理で、大会ごとに主催者が必要に応じて設定する必要があるものです。

GP ラスベガスのように、使用する用紙の色を替えるという工夫も可能でしょう。

ともあれまだまだウィザーズに改善の余地があると思えるデッキリストなのでした。

10月19日（土） GP 本戦初日

6時半。8時のnasさんとの待ち合わせには少し早いですが、起きてしまおう。

まずは荷物の整理。部屋に置いておく荷物と会場内で持ち歩く荷物を分別。

そしてiPhoneとノートPCを持参する限り、iPadは不要なアイテムであると早くも実感。iPhoneを使うことを覚えると外で操作するにはiPadは大きすぎて抵抗があるし、部屋でじっくり日記を書くにはやはりPCの方がいい（複数ウィンドウを開けるのが大きい）。

次回の旅行からはiPadは荷物から外そう。

サイン会にワンチャンありそうなので、昨日捕獲したプレイマットは持っていくことに。

まず歯を磨く。バスルームの共同洗面所にはコップなど無かったので、100均で女房が買った携帯用コップが活躍した。まあ手酌でもいいんだけど。

がつつり飯は会場内の食堂で取るとして、まずはコンビニで何かつまむべく部屋を出る。ホテルのセキュリティに不安がないでもないが、ノートPCはそのまま置いていく。

セブンイレブンで買ったブドウパンをかじっているうち、8時になりnasさん到着。タクシーは特に乗り場を探すこともなく、そこで手を上げたら普通に拾えた。会場まで10分ほどの距離を2人で割って1人27HKD。うんこりゃいいや。明日もこの手で。

GP 開始待ち

予定よりもだいぶ早くKITECに着けたので、会場の食堂の朝食にトライする。メニューから選んだ好きな2品乗せのビーフンに紅茶がついて26HKD。うんこりゃうまい！大正解。



朝の薬を飲むため水を所望したら冷水でなく白湯が来た。いいけど。

どうも香港は飯屋で無料の冷水を出す習慣がないらしい。一説によれば油の多い料理とは合わないという話なのだが、まあソフトドリンクを売るためなのかもしれない（笑）。

食後、トイレの大を使おうとしたら列ができていたので3Fまでエスカレーターで上って待ち時間なしで用を足す。この手は翌日も使った。

あとは会場でシートオールを待つのみ。受付時に英語パックと中文パックのどちらを使用するか聞かれたわけだが、言語ごとに張り出しが分かれている。これは分かりやすいね。



チェックバック

当日受付をやっていたにもかかわらず9時ぴったりにシートオールが出た。これは驚きの手際の良さ。

ただちにチェックバックに入るが、はす向かいのひとがパックを開封する前にドロップを申し出て未開封パックを手にも席を立った。30分ほど待てば自分のパックがカスだったらそれを誰かに押し付けてワンチャン別の奴を貰った後でドロップすることもできたと思うわけなので（笑）、よほど急ぎの用があったのだろう。

チェックリストは公式の奴にいろいろ手がいれてあって分かりやすい（コラム参照）。

デッキ構築

GP 香港の参加人数は 989 人。惜しくも千人に届かず。日本からは自分を含めて 46 人。
7-2 以上で 2 日目に進出。そして今日の自分のパックは…まずはレアチェック。
またしても赤の神様こんにちは。

《Purphoros, God of the Forge》

《Boon Satyr》

《Reverent Hunter》

《Psychic Intrusion》

《Stream Augury》

《Tymaret, the Murder King》

しかしコモン・アンコモン的には除去が薄く、緑のファッティもいないので、除去が薄めの赤黒でハッハーするデッキしか組めなかったりする。駄目だと思う。

Creatures:16

《Freshmad Steed》

《Returned Pharanx》

《Tymaret, the Murder King》

《Blood-Toll Harpy》

《Mogis's Marauder》

《Flamespeaker Adept》

《Spearpoint Oread》 *2

《Erebos's Emissary》

《Borderland Minotaur》

《Ill-Tempered Cyclops》

《Gray Merchant of Asphodel》

《Keepsake Gorgon》

《Wild Celebrants》

《Loathsome Catoblepas》 *2

Spells:7

《Coordinated Assault》

《Pharika's Cure》

《Read the Bones》

《March of the Returned》

《Portent of Betrayal》

《Purphoros, God of the Forge》

《Rage of Purphoros》

Lands:17

《Swamp》 *9

《Mountain》 *8

Sideboard:

《Boon of Erebos》

Jung Park のサイン会

デッキリストを提出してから Jung Park のサイン会の列に並ぶ。自分の前には 30 人ほど。1bye の 1 時間で貰えるかなー…と思いつつ。イラストをサインさせると、札束を積んで 1 人で 1 時間取る奴とか出るわけだけど（死ね）、午前の部は字のみなので何とかだった。日本語版のカードを出したらサインの前に消しゴムをかけられた。ああそうだテーロスの日本語版は表面にニスが塗ってあるんだっけね。
無事にニクソスのプレイマットと 3 枚にサインを貰う（この本の表紙）。

1 回戦の最中に会場隅でスタッフらがパックのチェック中。スリープインのデッキチェックですね。
スリープインという制度も 6 月の GP ラスベガスの時は「なんですかそれ」な感じだったんだけど、まあ定着してきましたね。悪くない話だと思います。



GP 対戦開始

ではラウンド 2 の対戦を開始。相手は女性プレイヤーの Chu さん。
ていうか、香港は女性プレイヤーが多いなあ。ざっと見 6%くらいは居るのではないかな。
女性参加者は神話レアというより通常レアという感じ。

先方のデッキは白赤緑。

1 戦目は、こちらが土地ばかり引いているうちに《アナックスとサイミーディー》に授与無双されて負け。

2 戦目は手札に《ファリカの療法》を抱えていたのに黒黒が出ず《アナックスとサイミーディー》を葬る機会を失い、やがてやっぱり授与無双されて負け。

うん、右手が光らな過ぎるのはともかく、やっぱ問答無用でタフネス5以上を葬れる黒の6マナコモンが無い時点でやっぱ終わってるなこのデッキ。
早くも土がついたし上位に残るのは無理だろう。

ラウンド3はChewnさん相手の白緑にブンして快勝。

会場内をぶらぶら

待ち時間にバイヤーブースを覗く。レベッカさんから中文版ポータルのあるレアを探しているのであつたら買っておいてと頼まれていたのであるが、一見して分かったのは香港は中文版よりも英語版のほうが普通に流通していて、実際GPでは普通に中華圏の方と対戦していたわけだがみな英語版を使っていたという事実。日本語カードもプレミアなし。

ユージンのガチャが並んでいるのを発見。香港の硬貨って結構まちまちなのに…と思ったら硬貨でなくオクトパスカード（香港の地下鉄プリペイドカード）を使うようだ。
また、バイヤーブースで売っていた萌えトークンを話の種に1枚ずつ買う。



そろそろドロップ

ラウンド4はYuさん。デッキは白黒。

1戦目は《百手巨人》に《希望の幻霊》を授与されて毎回殴られてライフレースで負け。

ていうか《百手巨人》が出た時点で、早くもこれをどうにもできぬ。

2戦目は相手がデッキを白青黒に組み替えていたら、相手が事故って勝ち。

3戦目は《百手巨人》に《希望の幻霊》を授与され（略）。

うん、分かっていたけどタフネス5以上に対処する手段がない時点でやはり駄目。

これで2敗。もう後がないが、まあ駄目だろう。いつドロップするかを考え始める。

ラウンド5はZhengさんの青緑。2回とも早々にTap Itが出てどうにもならずに負け。

かなり心をぶち折られたが、まだ16時前だしなぁと思いつつ、1勝すればPWP24点と思いながら、もう1回だけ。

ラウンド6はKoさんの白青。

正直なところ相手のプレイングは決してうまくなく…というより多分初心者で、タッサを置いているのに以後のターンのアップキープで占術をしなかったり（指摘の義務はないが指摘しようかどうかずいぶん迷った）デッキもそれほど強いと思えなかったのだが、そのような相手とデッキにも勝てないのが自分の今日のデッキだ（涙）。

《メレティスのダウソス》に《液態化》を貼って雑に殴ってくるだけをどうにもできず、やがてそれに《希望の幻霊》も貼られてライフレースにも負けて敗退。うん、弱い。

ドロップして信和中心へ

さすがにドロップして17時過ぎ、会場を離脱する。

zoe.くんと一緒だったのでひとつzoe.くんの案に従って、KITECの最寄駅の九龍湾まで歩いた後に地下鉄で移動してみることにした。九龍湾から旺角まで8HKD。

…うん、確かに安上がりだけど歩きたくない僕は次からは素直にタクシーを使うよ。

旺角で zoe. ちゃんと別れて下車し、彌敦道を南下して香港オタクビルと呼ばれる信和中心を目指す。ほどなく発見できた。18 時に入場。

最上階にエスカレーターで上り、つぶさに歩く。なるほどこれは中野ブロードウェイ（あるいはラジオ会館）ですねえ。日本製のオタクグッズとコミックと雑誌とゲームとソフトとおもちゃ、そしてそれらをローカライズしたもの。オタクビル。しかし「パシフィック・リム」北米版 BD を輸入して置いていないかと思って探しに来た自分としては「ええい日本の正規品や海賊版はいい、北米正規品はないのか」な感じではあった。



客層としては女子の眼鏡率高し。ただしデフォルトは彼氏つきだが。最上階に日本の AV の海賊版コピー DVD を売っている店があった。6 枚で 100HKD。正規品北米版の BD を売っている店はいくつもあったが、残念ながらパシフィックリム BD は見当たらない。まあ仕方がない、と思いつつ 19 時に信和中心を出る。

男人街へ

じゃあ夕食がてらに、香港に行ったら行こうと思っていた男人街の夜店屋台を見よう、ということで彌敦道をさらに南へ。男人街のある油麻地は旺角より 1 駅だから遠くはない。案の定、ほどなくそれらしい通りを発見した。

自分の屋台センサーがビンビン反応し、屋台には毛沢東/共産党/飯島愛のトランプだのが並び、Tシャツが 6 枚 100HKD だったりする。楽しい。写真をもう少し撮るんだったかなー。

屋台沿いの店舗に入って夕食にする。
肉の土鍋とコーラで 38HKD。土鍋が
熱くて触れぬが、うまい。はふはふ。
底にひっついたおこげも食べる。

夕食は軽くしてあとは屋台の食べ歩き
などしようと思ったのだが意外に量が
あり満腹になってしまった。



夕食後、トランプを 5 個 100HKD で値切って買ったり翡翠市を覗いたり（買わない）、
大量にある大人のおもちゃ屋の屋台をスルーしたり。

あ、日本の AV の海賊版 DVD はこっちでは 10 枚 100HKD でした（笑）。
とある通りは占いの屋台通りらしく、椅子に座って順番待ちをする女性で一杯。

男人街をたっぷり堪能してホテルに戻ることにする。

ここからだとな沙咀までは地下鉄で 1 駅半ほどだろうからと試しに彌敦道をさらに南に歩
いてみたが、これはさすがに距離がいささかあって疲れた。地下鉄かタクシーを利用すべ
きだった。

2 日目終了

台湾で発見して気に入ったがなぜか日本では売っていない「にんじんりんごカルピス」を
コンビニで発見したので、捕獲してホテルへ戻るともう 23 時。

香港に訪れたら行く予定であった信和中心と男人街をいっぺんに今夜済ますことができた
ので、明日はどこに行こうかなあ。足裏マッサージでも試してみようかな。

シャワーを浴びたら猛烈に睡魔が襲ってきたので、さっそく買った T シャツをパジャマの
代わりにして、零時過ぎに就寝。

現地飲料の話

日本では見かけない食べ物や飲み物を味わえるのが、海外旅行の大きな楽しみのひとつです。ここでは向こうのコンビニで普通に買えるものの日本に（たぶん）売っていない飲料類を紹介します。



←「陽光」のメロン牛乳

「陽光」は香港の大手飲料ブランドらしいです。日本に進出はしていない？のだろうか。

普通においしい味で、どこでも普通に買えたのでコンビニでは毎晩これを2～3本買い込んだうえ、ホテルの部屋で夜に飲んでました。ココナッツ味も普通においしかったです。



お米ジュース→

お米の研ぎ汁の味かな？と思ってネタで買ってみたのですが、ココナッツジュースを思わせるさっぱり味で悪くなかったです。

余分を買って、土産にする手があったかも。

にんじんりんごカルピス→

「カルピス」が海外で出している商品で、味はカルピスウォーターのりんご（+にんじん）味のようなものです。いやおいしいんですよこれ。去年 GP 台湾で発見して狂喜して、何本か土産に持ち帰ったほどのシロモノ。

ラベルも日本語表記されており、何でコレ日本で発売しないんだよ級の商品であり、実際カルピスに「日本で出してよ！」というリクエストを1年前に送ったのですが「貴重なご意見ありがとうございます」のテンプレ回答を貰っただけで現在に至っています。何で日本で出さないんだろう…。



10月20日（日） GP 2日目

もちろん勝ち残れなかった自分は「スーパーサンデーシールドの日」なのですが（笑）。
2時半に目が覚めてしまったので、PCを起動し昨日の日記を忘れないうちに書いてから、
4時に寝なおして7時に起床。

昨日のぶどうパンの余りをかじって腹を持たせてから支度をし8時に nasさんと合流し、
タクシーで会場へ。

スーパーサンデーシールド受付開始は
8時半からということで、まずは昨日の
飯屋で朝食。昨日のセットでいいやと
いうことで、乗せる2品を替えて、
ビーフンでなくラーメンにしてみる。
うん、うまい。ラーメンもとっても日
本のインスタントラーメンみたいな味
でおいしい（ほめてない）。



マジッククラスタへの日本土産



同じく初日落ちのウメ様の後に並びスーパーサンデー
シールドにエントリーする。

待ち時間に暇だったので、ウメ様に昨日買った萌え
トークンを見せると、その中の一点に「こりゃアカン
でしょ」と言われる。

をを、レベル3ジャッジ裁定が出たな（笑）。

うんまぁ直接描写はなくても獣姦はいかんよね。よし
コレを日本の友人への土産にしよう（笑）。

さらに中文版か英語版の在庫を1箱で、ラヴニカの建築ジェイスの中文プレイマットをくれると聞いてしばし悩む。

検討のすえ、レフィアさんのオーダーを受ける形で中文版の「ギルド門侵犯」を1箱買って、プレイマットは自分が貰うことで成立。



スーパーサンデーシールド

ではスーパーサンデーシールドの開始。

今日はコモンの青の偏りに引かれ青黒をチョイス。ただしバウンスが無いのは青としては致命的に弱い…とは思える。駄目じゃね？

Creatures:18 《Bareful Eidolon》 《Returned Phalanx》 《Nimbus Naiad》 《Blood-Toll Harpy》 《Mogis's Marauder》 《Breaching Hippocamp》*3（笑） 《Cavern Lampad》 《Disciple of Phenax》 《Prescient Chimera》*3（笑） 《Sealock Monster》 《Grey Merchant of Asphodel》 《Keepsake Gorgon》*2 《Horizon Scholar》	Spells:5 《Annul》 《Stymied Hopes》 《Pharika's Cure》 《Spell of Hemlock》*2 Lands:17 《Islands》*8 《Swamp》*9
---	---

ラウンド 1 は Tiong さんの赤緑→青緑→赤緑。

1 戦目は相手が割とドブン。手札を見て重めの生物を捨てさせたら、次のターンで相手が 4/3 トップをしてきたりして負け。

2 戦目は、相手は勝ったのにデッキ構成を変えてきた。デッキが遅くなっていたこともあって、こちらが本領を発揮して勝ち。

3 戦目は、相手はやはりデッキを軽めに戻してくるも、今度はライフレースで勝ち。よし、幸先はいい。

ラウンド 2 は Chengan さんの青黒緑。

1 戦目は、接戦ライフレースのうえで押し切る。

2 戦目は、接戦ライフレースのうえで相手がクラーケンを出し、その後で相手が 8 枚目の土地を引いたので負け。こちらがキメラの誘発占術を忘れるという割と致命的なミスがあったので、それが無ければどうだったかな…。

3 戦目は、接戦ライフレースのうえで相手が飛行絆魂ハーピーを出す。1 点を争う展開であれはあかん…と思いつつ 6 マナ除去を打つと、相手はそれを手札にバウンスしたうえで再度次のターンに出す。ところがこっちには 6 マナ除去がもう 1 枚あるんだぜーと思って次に再度除去を打ってドヤ顔する。よし、これで勝ったかな…と思って次のターンに気がついたらそのハーピーが戦場に残っていて別の奴が墓地に落ちていた。あれ？

指定間違えたっけ俺…????? ともあれその時に戦場と墓地を確認しそれをちゃんと指摘できなかった時点で俺が悪い。また誘発占術忘れもやったしね。まあ負けるよそれは。

これで 1-1。

空き時間にウメ様と雑談していたら「4 階」という謎の単語が聞こえる。その後で Gemstone さんに聞いたら「何やら今日は KITEC の上のフロアで現地の同人誌即売会をやっておりコスプレイヤーが一杯いる」という面白情報を耳にする。

何と。よし、これはもう今日は 2 敗ドロップでいいや（笑）。

ラウンド 3 は Nee さんの青赤。

1 戦目は向こうにタッサの槍が出て、以後は殴りあいの結果、順調にドロローを重ねられて

アドを取られ続けて負け。

2戦目は黒黒が出ずにこちらの展開が遅くて負け。

シンガポールの Nee さんとは話もはずんだので「クアラルンプールで会いましょう」とにこやかに別れる。

これで 1-2 したのでドロップし、さっそく上のフロアでやっているという同人誌即売会に参加すべく GP 会場を出る。

香港の同人誌即売会

この本の反対側にまとめてあります。

昼飯

1 時間くらい香港の同人誌即売会を歩いた後に、15 時に 1 階に戻ってきて昼飯にする。今日はいつも朝食を食べている飯屋でなく、その隣の飯屋でランチ弁当を頼んでみる。

メニューには「カツ丼」と書いてある、飯の上にレタスが敷いてありその上に揚げた豚肉が乗せてあるランチを買う。節子、これただの排骨飯や。値段は飲み物込み 52HKD で、正直なところ価格満足度は高くない。もう KITEC の飯は隣の飯屋オンリーでいいです。



ブースタードラフト

腹もふくれたがまだ 16 時前なので、ドラフト 1 回くらいやっていこうかなということで 9 番ポッドにエントリーする。

参加費を払おうとしたら「ピリタ」と言われて制止され、何のことかしばらく分からず、あとでああそうか Pay Later とのことだったんだなと気がついた。

まったくもって他人のことはこれっぽちも言えないのだが正直中国訛りの英語は聞き取りにくい。まあ自分の英語だって同じだけどね。タクシーの運ちゃんにうっかり「クーロンベイ」と言ってしまうと通じず慌てて「カオルーンベイ」と言い直したこともあるし。ほどなくブードラが 8 人揃って立ったので参加。

1-1 《Anax and Cymede》。ふむ。じゃあ今日は白赤の英雄デッキで行こう。

以後は、白赤の除去と強化呪文と授与と生物を取っていく。評決 2 枚に 5 マナ火力 2 枚。人気のない白に決め打ちした自分なので白白の《Phalanx Leader》も 2 枚引けた。おっ…これはもしかして行けるかも。取ったレア的には安いけど、まあどうでもいい。

Creatures: 14

《Priest of iroas》
《Phalanx Leader》 *2
《Traveling Philosopher》
《Observer Alseid》
《Spearpoint Oread》 *2
《Anax and Cymede》
《Heliod's Emissary》
《Hundred-Handed One》
《Borderland Minotaur》
《Decorated Griffin》
《Wild Celebrants》 *2

Spells: 9

《Gods Willing》
《Last Breath》
《Dauntless Onslaught》
《Gift of Immortality》
《Divine Verdict》 *2
《Rage of Purphoros》 *2
《Vanquish the Foul》

ラウンド 1 は Tai さんの青赤緑。

1 戦目は《Anax and Cymede》で殴りながらコンバットトリックを打って、ブン勝ち。

2 戦目は《Anax and Cymede》は出たが後続クリーチャーを引かずに負け。

3 戦目は《Phalanx Leader》と熊を並べてアタック。ここで相手がブロックしなかった所で《Dauntless Onslaught》を《Phalanx Leader》と熊に打つ。この結果、双方に +1/+1 カウンターが乗ったうえで +2/+2 されたため合計 9 点をもぎとって脳汁が出た。そのまま押し切り勝ち。

なかなかもう一方が終わらずに小一時間ほども待ったうえで、2 回戦。

まあ 8-man イベントは 50 分制限も実質ないし時間管理とか無理だしね。

ラウンド 2 は Ho さん。デッキは白緑で、のち白青緑に変更。

1 戦目は、基本的に殴り合いのライフレースだったが、打点は稼げていたためこちらの《Decorated Griffin》に無敵エンチャントの《Gift of Immortality》を張るという弱い構成の飛行 2/3 の無敵ブロッカーを作ったら、相手はこれを突破できずに動きが止まる。そのまま他の奴で殴っていったら勝てた。

2 戦目は、3 ターン目に《Anax and Cymede》が出て、4 ターン目にそれに《Gift of Immortality》を貼り 4/3 警戒先制無敵トランブルという意味不明の生物で殴る。その後 6 マナに到達したので《Spearpoint Oread》を授与して 6/5 警戒先制無敵トランブルで殴り、その次のターンでもう 1 枚の《Spearpoint Oread》を授与して 8/7 警戒先制無敵トランブルで殴ったら、さすがに勝った。

ラウンド 3 は相手が持ちかけてきたスプリットに乗って、4 パックを貰って終了。

決める必要がある勝敗自体も、相手が譲ってくれたので、お言葉に甘えて PWP ゲット。

もう 18 時を回ったので、遊びで打つこともなくお互いに貰った 4 パックを剥いて終了にする。相手のパックからは《思考罫い》が出た。負けた（笑）。

こちらの取りレアは、まあ嬉しいのはまだ持っていなかったライオンくらいか。

会場を離脱して、コスプレイヤーの列に混ざってタクシー待ちをしたうえで、ホテルに戻って自分の GP 香港は全部終了。

足裏マッサージを試す

19時、ホテルに戻って荷物を置いてから出る。今夜は夕食とお土産の購入、それに足裏マッサージを試してみようと決める。

今夜は彌敦道を横切って、まだ歩いていなかった漢口道をぶらぶら歩いてみることにする。

足マッサージの店はいくらでもあるが、看板を見ていたら客引きが「安くするよ 30分で 89HKD にするよ」と言ってきたので、乗るのも良いかと思ってお試しで入る。

(30分後)

…ををををを。これは良い。余は満足じゃ。足の疲れが取れた。やって良かったあ！
これで 30分 90HKD なら全然 OK。初日から毎日やるんだったかなの感もある。
ちなみに性的なサービスはありません。この値段じゃね。

ホテルの近くには、下着姿の女の子の写真と 495HKD というマッサージ屋の広告看板があるんだけど（写真を撮るんだったw）、あれは性的なサービスを含んでるんだろうなとか思ったり。あるいは女の子が身体を密着させたり太ももなでなでするなどギリギリのサービスをしたうえで、抜いて欲しければもう 500HKD とか言って巻き上げて手コキで済ませるという類なのだろうか（ありそう）。

サイトの情報とかを読む限りでは、実際には香港は 500HKD もあれば普通に合法風俗で本番もできるらしいので、それ明らかにボッタくりなんだけどねー。

すっかり足が楽になったので、引き続き漢口街をぶらぶらする。

適当に入った店で夕食の炒飯。ドリンク込み 58HKD。味はまあ普通かな。



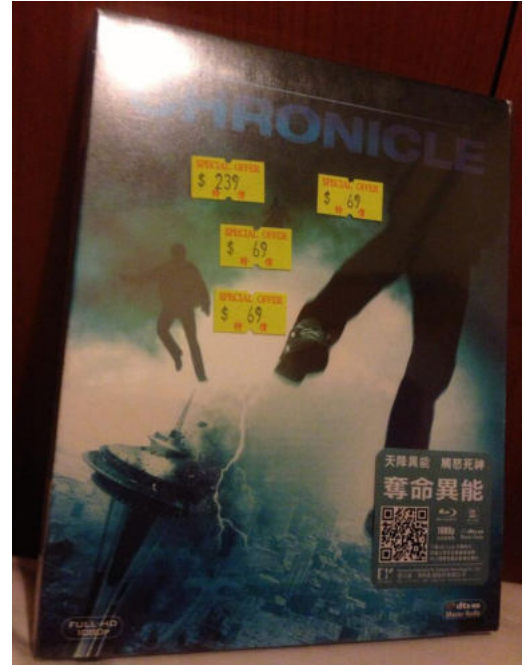
漢口街を歩く

その後、菓子屋で女房への土産のクッキーを買ったり、薬屋で会社への土産のキャンデーを買ったりする。

AVショップで「クロニクル」中国版正規品 BD が 239HKD→69HKD の割引価格で売っていたので、思い切って手を出してしまう。

パッケージには日本語の字幕音声の記述はないが、ドイツ版と同じマスターを使っているのならば実は日本語の字幕音声も入っている筈である（割とよくある話）。

しかしさっそく帰国後試すも、北米版のマスターらしく日本語はありませんでした。残念。



閉店していたがちょっと面白そうな本屋もあったので、明日の午前中に覗いてみようかなと思う。明日は 11 時にチェックアウトの後、15 時に香港空港で出国という以外には予定何も決まってないからなあ。

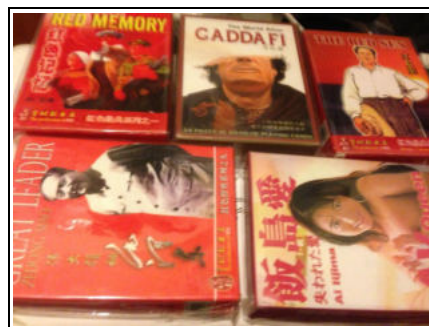
ホテルに戻って、シャワーを使うと 23 時。睡魔も襲ってきたので寝てしまおう。荷造りは明日の朝でいいや。

現地で買ったものなど(微エロ)

税関でばれたら没収覚悟で、色々怪しいものを買ってしまうのも、海外旅行の楽しみのひとつではあります。

トランプ

男人街の屋台で毛沢東トランプ・共産党トランプ・飯島愛トランプなど売っていたもの。あちこちで売っていたので共通の卸がどこかにあるんでしょう。値切って5個100HKDで購入。



香港 97

その筋では有名なエロ本。屋台でなく、某ビルの中で売ってました。

寂しい夜のおともとして購入。45HKDだったかな。

ちなみに無修正ですが、正直なところ冷静になって考えればいまだき「なんで買ったんだろう…」と思えるような女優の質だったり（笑）。

NO IMAGE

画像はありません

日本のAVのDVD

これも定番。信和中心や男人街の屋台で売ってました。ちなみに信和中心で買った中には「無修正」のものも混じっていました。

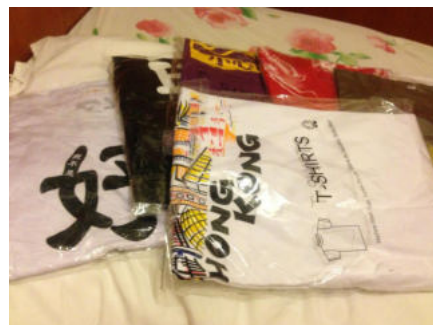
え…てことはコレは日本の海賊版というより原版が流出してるのか？盗人猛々しいことに「プロテクト」をかけているものもあった（笑）。

NO IMAGE

画像はありません

Tシャツ

これも定番ですね。土産として配りまくるもよし、部屋着やパジャマとして着るもよし。6枚100HKDで購入。



10月21日（月） 帰国日

6時に目が覚めた。よし。今日は帰国の日。

まずは昨日のマジック日記をまとめてから DiaryNote にあげてしまおう。

…昨日は2戦行っただけで何だかんだで2時間近くかかった。まあ今回の旅行のメインだし、別に時間をかけても構わないのではあるが。

では共同シャワーを浴びてから、荷造りをしてチェックアウトしよう。

他の人がシャワー使っている音が消えたので少し待って自分もシャワーを使う。

もともと自分はホテルに泊まる時もバスタブをいちいちお湯で満たすことなどしなかった
のでシャワーのみというのは別に構わない。ただまあ共同でないほうがいいよね（笑）。



共同スペースにマルチタップを返却に行って
思わず目を疑うものが捨ててあったのを発見。
念のため中身を改めましたが、当然コモンと
アンコモンでした。

えーとこれ、同じフロアに GP 香港に泊まった
人が居たってことだよね（笑）。

しかも「日本語版」…ということは、これは
バイヤーブースで買ったとかいうものでもなく、8人構築イベントで優勝した人が居た
ということですな。実力者。

朝の漢口街

9時に朝飯のためホテルを出て、朝の漢口街をぶらぶらする。

「富視眼鏡」という立て看板を発見。女性用の眼鏡の広告のようです。

GP 会場や信和中心や街中でも常々感じていたのですが、香港は女性の眼鏡比率がとても
多く、これはおそらく香港では近視になった女性がコンタクトレンズでなく眼鏡を普通に

かけている結果だと思われます。つまり近視になった女性がわざわざコンタクトレンズにするという蛭習が無く、さらに「眼鏡の女性が美しい」という価値観が社会に共有されているのだと思われます。つまり香港は地上の楽園。

水滸伝を思い出す高球城という名前のスポーツショップを眺めたりしているうち、洋風の朝食セットを出している店を発見したので入る。



ドリンク無しの目玉焼きと肉のセットを注文。

セットメニューが 30HKD~の店での 55HKD のセットではあったものの、メニューからの予想をはるかに上回る量の肉にちょっとたじろぐ。例によって水でなくお湯がつく。肝心の味は普通の洋食メニューで、少し量が多いがうまい。大満足で満腹。

店内も小奇麗で悪くないし、澳門茶餐廳（Macau Restaurant: マカオレストラン）か、覚えておこう。…って後でサイトで調べたら、結構評判のチェーン店みたいです。



マンモスの牙

満腹したので、しばらくぶらぶら付近を歩くことにすると、マンモスの牙が展示してあるマンモス及び象牙の細工物のショップを発見した。目の保養。買う金などないが店内を眺め、いろいろ見せて貰う。



直径 1cm くらいある細かい細工のついた球を 20 個くらいつないだ数珠があったので試しに「いくら」と聞いてみたら 9000HKD とのこと。

…正直なところ、いまの自分には買えないし買っても仕方がないけど高くないなと思った。まあ買ってもワシントン条約の関係で日本には正式には持ち込めないであろうという話もあるが。

マンモスの牙なんてシロモノがそんなに出土するのだろうかとか思ったが、あるいはこの「マンモスの牙」というのはワシントン条約をかわすための方便で、その実は密漁されている「象牙」なのではないのだろうかと思ったりもした。真実は知らない。

チェックアウト

ホテルに戻り、いよいよチェックアウト。最後にホテルの廊下から外の写真を撮る。うん、ただの汚いマンションだこれは（笑）。

しかし正直なところ自分は次回もここでも良いと思った。寝るだけの場所ならね。



11 時前にホテルをチェックアウトして、デポジットの 300HKD を受け取ってカラコ口を引いてホテルを出て漢口街の方向へ。ではあとはこの 300HKD を使い切ろう。

まずは昨夜発見した本屋に行ってみるか…と思ったが、どうやら道を 1 本間違えたらしく発見できず。重い荷物を引きながらわざわざ戻って探すほどのものではないので、そのままスルーして先に進む。

広東道のあたりまでカラコ口を引いてから現在地を確認すると、まだまだ九龍駅までは結構距離がありそうだったので世界商業中心（World Commerce Center）の下タクシー乗り場でタクシーを拾って九龍駅へ。

5 分くらいかかって 23HKD。九龍駅は立体交差を渡って地下にあるような感じで、とても歩ける距離ではなかったのでタクシーを拾って正解。



何ごともなく香港空港へのエクスプレスのチケットを 90HKD で買い、乗車。最高時速 130km ほどという触れ込みで 20 分ほどで空港駅に到着。

空港で時間を潰す

空港駅で下車。受付嬢風に目の前に座っていた係員の目の前を通ったものの特に改札機を通ることもなく目の前の通路からそのまま空港ロビーに入れたのには驚く。

あれ、これってエクスプレス代をキセルできるんじゃあ…。ともあれ空港着。

無事に発券を終えて飛行機に荷物を預けるともう正午。さてあと 2 時間ほどここで時間を潰さなきゃね。財布の中の 420HKD を使い切りタイムだともいう。

空港の高く豪華な昼飯を食う手もあったのだが、朝のセットが結構がつつり飯だったのでまだ空腹を感じていない。

エッグタルトを購入

とりあえず女房から土産のリクエストのあったエッグタルトを探して買うことにする。

土産物屋に行ってガイドブックのエッグタルトを見せて「これは売ってないですか」と尋ねたら、そのエスカレーターで上のフロアに行けという。

上のフロアに行ったら飲茶店があった。

ははあここかなと思いつつ店員に尋ねると、果たしてエッグタルトは扱っており、3個で30HKD。テイクアウトOK。うむ問題ない。



10個ほど買おうと思い危うく30個注文しそうになるも、3セットの9個を買って90HKD。まあこのくらいでいいでしょう。焼きあがるまで少し待てというので、入り口の椅子に座ってしばらく待つ。

ウメ様のターン

エッグタルトを待っている間に、その飲茶店の中からウメ様が出てきた。あらと思いつつ挨拶するも、何やら急いでる風であったので「？」と思いつつ、そのまま別れて見送る。

エッグタルトが焼きあがったので購入した。うむ。お土産ミッション終了。

さてこれからどうするかね…と思って、さっきの挙動不審のウメ様のことを思い出す。ウメ様は荷物を全部持って店を出て行った風には見えなかったことから「これは飲茶店の店内に荷物がまだあり、連れも居るはずだ」と気がついたので、自分も店内に入る。しばし店内を探すと、名前は出てこないが見た顔の人がテーブルに1人で座っているのを発見。もしやと思って挨拶をしたうえウメ様のことを尋ねたらビンゴ（この人は行弘さんであった）。これ幸いと、自分も空いている向かいの席に座る。

さっそく、さっきウメ様が慌てて出ていきましたが何かあったんですかと尋ねる。事情を聞くと、2人ともこれから帰国するので「現金使い切り」モードでこの飲茶店に入ったのだが、飲み食いしていたら予算をオーバーし逆に現金が足りなくなってしまったため新たに現金を調達しに行きたらしい。面白過ぎる（笑）。さっき入り口であった時にウメ様がひとこと言ってくればこちらも現金を余らせていたのに…とも思うも、まあそんなことを出会い頭にいきなり打ち明けたりはしないよね。

それはそれとしてウメ様は戻ってこないし、行弘さんがどうもそわそわし出した。事情を聞くと、行弘さんの飛行機の便は30分後には出る予定だという。え、そろそろ危ないじゃないですか！ということで「そういうことなら、ウメ様が戻ってきたら自分が事情を説明しますから行弘さんはお金を置いてもう行ってください」と申し出る。行弘さん退場。ちなみにその行弘さんが乗る飛行機は結局2時間遅延したらしい（笑）。

やがてウメ様が戻ってきたので事情を説明する。

ウメ様の便は自分よりも30分早く、つまりまだ少々時間があったので、それから30分くらいウメ様と雑談。ついでに机の上に残っていたエッグタルトを1つつまむ（笑）。

出国と昼食

13時半に、そろそろ出国ゲートに行くというウメ様と一緒に店を出て別れる。これは自分にも良い時間潰しになった。

自分はそれから少々ショップを見て時間潰しをした後に、14 時前に離陸ゲートをくぐる。さらば香港。

何ごともなく出国手続きを終え、搭乗まで 1 時間。そろそろ小腹も減ってきたので、そういえば自分も昼飯がまだだったなと思って、フライドチキンのファストフード「POPEYES」に入る。



販売はセットのみだと言われたので、60HKD ならいいかな…と思いチキンとポテトとコールスローとドリンクのセットを頼んだら、そのアメリカンな分量に驚く。

チキンは 6 ピース…かな。日本だと 1500 円はしそうなセットだ。

これは少し急いで食べねばならんかも、と思いつついただく。

うむ、うまかった。鶏肉は幸せのこと。

さらば香港

14 時半。もう搭乗が始まっている筈なので、指定の 28 番ゲートへ動く歩道を移動。まあ迷いようがないだろう…と思ったら搭乗手続きをしていない。あれ？

えーとチケットの 14:30 って「この時間に来い」の意味であって離陸は 15 時だったよな、まさか間違っていないよな…としばし焦っていると、女性係員が近づいてきて「ゲートが 30 番に変更されました」とのこと。ほっ。問題なく移動し、搭乗。

何ごともなく 15 時に離陸。

離陸するなり「昼食」が出たので少し「うっぷ」な気分だったのだけれど、何とか完食。

もう夕食はいらないや。味はまあまあ。

何ごともなく 5 時間のフライトを終え、20 時半（ここからは日本時間）に成田空港に到着。



光の速さで入国審査を終えて真っ先に荷物を待つが、なかなか自分の荷物が出てこないで 20 分くらい待たされる。むー。

モデムを空港の受付窓口に戻却して終了。前の客が借りたモデムが不良品だったらしく、金は払えんとかクレームをつけていた。気持ちは分かるが受け取り係に言っても仕方ないよなー。もし自分に同じことが起こったら…現地調達できるかな、どうかな？

何やら外人タレントが来日していたらしく、目の前を嵐のように通り過ぎて行った大勢の大人の女性に遭遇したりした後に JR 成田空港駅に入る。

すでに総武線快速電車はホームに停まっていたが、時刻表を見ると発車時間は 30 分後。これだから成田空港にしたくなかったんだよなー。前に台湾に行った際にも、帰りに駅に忘れ物をしたことに気がついたものの、JR を逆走するとその日のうちに自宅に帰れないことが判明したので後日取りにいったみたいなこともあったしなあ。可能なら羽田で。

ともあれそのまま待って総武線快速に乗り、新小岩駅からはさすがにタクシーを使って 22 時半に帰宅。帰って風呂に入るなり「艦これ」を起動（笑）。

ともあれこれで私の GP 香港は終了しました。

（完）

香港空港から KITEC へのアクセス

GP 香港および CWT 香港が開催された KITEC (Kowloonbay International Trade & Exhibition Centre : 九龍灣國際展貿中心) の最寄駅は MRT 九龍湾で、駅からはシャトルバスが出ています。一応徒歩で行ける距離でもあります (15 分ほど)。



しかしながら MRT で空港駅から九龍湾までの路線を調べると、どうしても 2~3 回は乗換えが必要なルートを示してきます (運賃は 69HKD)。

所要時間は乗換えを含めて 50 分以上。九龍湾からまたシャトルなりを利用してさらに 15 分やそこらは必要であることを考えると、これは最安ですがあまり選択したくありません。空港から会場へ直行する以上は、おそらくは大荷物を抱えての移動になるでしょうし。

一番楽なのは明らかに空港から KITEC までタクシーで直行することで、この場合、35 分で到着でき、料金はボラれなければ 221-264HKD ほどになるでしょう。ただし値段は 3 倍以上。

検討の結果個人的に出した結論としては、時間と値段のバランスが良いのは、おそらく空港から九龍までをエクスプレスで移動 (25 分/90HKD) したうえで九龍から KITEC までをタクシー (11 分/58-69HKD) で移動することであると思われます。合計 148-159HKD。

もっとも実はこの結論は「1 人で空港から KITEC まで行く場合」の話で、明らかに一番早くてリーズナブルなのは「空港から KITEC までのタクシーの相乗り」であると言えます。

2 人であれば 1 人 111-132HKD、3 人であれば 74-85HKD。

結論：日本から KITEC に遊びに行く際には空港で友人と合流してタクシーで行くべし。

参考資料：

<http://www.kitec.com.hk/>

<http://www.taxiautofare.com/hk/Default.aspx>

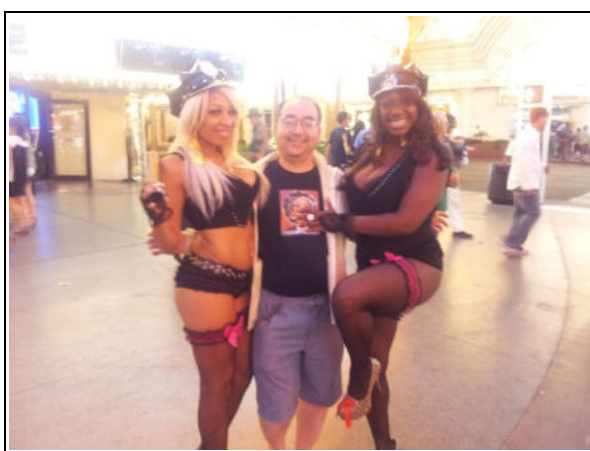
[広告]

GP ラスベガス参加記

GP 参加記シリーズ第 1 弾！（第 2 弾は本書）

2013 年 6 月にラスベガスで開催された「GP ラスベガス」への参加記です。

この本は夏コミケ（コミックマーケット 84）で頒布して好評のうちに完売して再版の予定はありませんが、現在は PDF 版を ameroad のサイトから購入可能です。



内容的には…まあ、本書と大差ないとも思えるので（笑）、本書がお気に召した方はご購入を検討していただくのもよろしいのではないのでしょうか。

40 ページ、300 円です。こちらでダウンロード購入できます↓

<http://ameroad.net/l/PPJ>

GP 香港 2013 記（v1.1）

発行：新小岩マジック

<https://twitter.com/kondohi>

発行日：2014年8月15日 v1.0発行は2013年12月30日

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（近藤博次）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）